

第八十一回帝國議會
衆議院

國民貯蓄組合法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

昭和十八年二月十九日(金曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 由谷 義治君
理事木下 義介君 理事西尾 末廣君
理事山口左右平君

池田正之輔君 片山 一男君
下出 義雄君 長野 高一君
古田喜三太君 山野 平一君
吉田貞次郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君
出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君
大藏省主税局長 松隈 秀雄君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省資金局長 松田 令輔君
大藏書記官子爵 戶田 忠肅君
大藏書記官 池田 勇人君
內務書記官 小林 千秋君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

納稅施設法案(政府提出、貴族院送付)

○由谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

西尾末廣君

○西尾委員 本議會ニ郵便年金法中改正法律案ヲ御提出ニナツテ居リマシテ、郵便年金最高制限額モ、二千四百圓ヲ三千六百圓ニ引上グルヤウニ致シマシテ、斯ウ云フ方面カラモ資金ノ吸上ヲ努力ナサツテ居ルノ

デアリマスルガ、其ノ他郵便貯金、簡易保險、彈丸切手等色々郵便局ノ窓口ヲ通ジテ、資金ノ吸上ガヤツテ居ラレルノデアリマスガ、一體是等ノ金ハ相當ノ額ニ上ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、斯様ナ金額ハ總テ一元的ニドノ方面ニ振向ケルカ、即チ軍需品製造ノ方ニ重點的ニ振向ケルコトガ、益、必要ニナツテ來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付キマシテ當局ニ於テハ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、御伺ヒ致シマス

○氏家政府委員 郵便年金、或ハ彈丸切手ト云フヤウナモノニ依ツテ吸上ガマシタ資金モ、外ノ銀行預金、或ハ生命保險ノ掛金ナドト同ジヤウニ國債消化資金、生産擴充資金、其ノ他國家的ニ必要ナ方面ニ使フト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、吸上ガタモノハ、其ノ中ノドチラノ方ニ向ケルト云フヤウナコトニハ決メテナイノデアリマス、併シ何レニシマシテモ、只今申上デマシタヤウニ嚴重ナ資金ノ統制ヲヤリマシテ、戰時下必要ナラザル方面ニ是ガ流レ出ナイヤウニト云フコトニ付キマシテハ、十分ノ注意ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、今御尋ネノ郵便貯金トカ、彈丸切手ニ依ツテ得マシタ資金ハ、御承知ノヤウニ預金部ノ運用委員會ニ於テ、之ヲ決定スルコトニナツテ居リマスシ、郵便年金、簡易保險ニ依ツテ得マシタ資金ノ運用ハ、又ソレノ

機關ニ於キマシテ、先程申上デマシタヤウナ趣旨ニ合致スルヤウナ運用方法ヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○西尾委員 ソレハ諒解致シマシタ、次ニ國民貯蓄ヲ出來ルダケ此ノ際多クシナケレバナラスト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、例ヘバ昨年ノ大藏大臣ノ議場ニ於ケル御説明ニ依リマス、國民所得ガ四百五十億、其ノ中デ國民生活ニ割當テラレルモノガ百五十億デアアル、斯ウ云フ御話デアツタノデアリマスガ、今年ハ國民ノ總生産力ニ於テハ、昨年ヨリ五十億殖エマシテ五百億ニナツテ居ル、而モソレニ反シテ國民生活ノ費ニ充テラルベキモノハ、二十億減リマシテ百三十億ト云フヤウナ見込ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ依ツテモ明カナコトハ、昨年ニ比シテ國民生活ハ愈、緊迫シテ來ル、而モ國民貯蓄ハ愈、益、多クサセナケレバナラスト云フコトカラ考ヘマス

ト、所謂國民貯蓄ノ隘路ヲ、何トカシテ打開シナケレバナラスト、斯ウ云フコトニナツテ來ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、其ノ隘路ト云フモノハ下級生活者ノ方ニハ、モウ既に昨年デモ無理ガアツタノデアリマシテ、今年ハ更に一層無理ガ加ハツテ來ルト思フノデアリマスガ、併シ此ノ無理モ國民ハ戰爭ニ勝チ抜ク爲ニハ、ドウシテモ辛抱シナケレバナラスト云フ覺悟ヲ持ツテ居ルノデアリマスアレドモ、併シ一方ニ尙ホ相當負擔力ノアルモノガ、十分ニ負擔ヲシテ居ナイト云フヤウナコトニナツテ來マス、

付託議案
國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六九號)
納稅施設法案(政府提出、貴族院送付)(第七〇號)

ドウモ非常ナ無理ヲシテモト云フ決意ガ、鈍ツテ來ルコトニナラウト思フノデアリマス、而シテ私ノ思フ所デハ、實際ニ吾々ガ隣組等デ色々國債ノ割當、債券ノ割當、或ハ國民貯蓄ト云フヤウナコトニ付テ事務ヲ取扱ツテ居リマス、ドウモ中産階級以上ノモノノ方ニ、ユトリガマダアルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、サウ云フコトニ付テ、ドウ云フ方法ヲ今年ハ考ヘテ居ラレマスカ、御尋ネ致シタイ

○氏家政府委員 目下國民貯蓄增強ノ上ニ問題トナツテ居リマスコトハ色々アルノデアリマスガ、其ノ中貯蓄能力ニ相應シタ貯蓄ヲサセルト云フ事柄、是ガ最も重要ナ問題ノ一ツデアラウト思フノデアリマス、先般大臣モ御話申上デタヤウデアリマスガ、マダ生活費ヲ五割、或ハソレ以上モ切下ゲル餘地ガアルト思ハレル階級モアル、然ルニモウ一割ノ切下ヲヤツテモ、無理デヤナイカト思ハレル階級モアル、ソコデ餘裕ノアル方面ニ一層切下ヲシテ貰ヒ、サウシテ戰爭ニ伴フ所ノ苦痛ヲ、成ベク平等ニ負擔スルヤウニト云フコトニ付テ、今後大イニ考ヘテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ方法ト申シマシテモ、御承知ノヤウニ今日ノ貯蓄ハ法律ニ依ツテ強制スルト云フ建前ヲ執ツテ居ラナイノデアリマスカラ、是ハ多少手間モ掛リ手緩イヤウニモ感ジマスアレドモ、ヤハリサウ云フ人々ノ自覺ヲ促シ、愛國心ニ燃ヘルト云ヤウナ方法ヲ、

主トシテ執ツテ行クヨリ外ナイと思フノデアリマス、ソノナコトデハ出來ナイデハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、是ハ法律デヤリマスヤウニ、手早クハ行カナイと思フノデアリマス、ケレドモ、私ハ段々ニ是ガ吾々ノ考ヘテ行ク方面ニ行キ得ルモノダト考ヘテ居リマス、ヨク非協力者ノ問題ガ採リ上ゲラレルノデアリマス、ケレドモ、貯蓄ニ對スル非協力者ト云フモノモ、實ハ段々ト減ツテ來テ居ルヤウデアリマス、中々世間ガ承知シナイヤウニナツテ來テ居ルノデアリマス、カラ、今マデノヤウニ、自分ハ外ニ銀行預金モシテ居ルノダカラ、或ハ株モ買ツテ居ルノダカラ、隣組アタリデヤル貯蓄ナンカニハ、相手ニナラナクテモ宜イト云フヤウナコトデ、超然トシテ居ルト云フヤウナコトハ、段々ニ出來ナクナツテ來テ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ隣組長デアルトカ、或ハ貯蓄組合ノ指導員デアルトカ、或ハ所ニ依リマシテハ翼賛會ノ關係ノ方々トカ、サウ云フ方面ノ方々ガ、有産階級、有識階級ナドデ、マダ貯蓄ニ十分ノ協力ヲ拂ツテ呉レナイト云フヤウナ方面ノ自覺ヲ促ストカ、反省ヲ求メルト云フヤウナコトニ、相當骨ヲ折ツテ居ラレルヤウデアリマス、カラ、段々サウ云フ方面ノ人モ十分貯蓄スルヤウニ、又生活ノ切下ガヲ取急イデヤルヤウナ機運ニ向ツテ來ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス

ガ、都會ニ於キマシテモ、隣組等デ、向フハモツトシタ方宜イデハナイカト云フコトガ、能ク分ツテ居リマシテモ、隣組デハ餘リ言ヘナイノデアリマス、サウ云フノハヤハリ指導員ガ行ツテ、モツトアタナノ方ニハシテ貰ヒタイト云フコトヲ言ヘバ、尙ホ出來ルデハナイカト思フコトガ段々アルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、法律デ決メテナクテモ何カノ基準ニ基イテ、モウ少シ何トカ踏張ツテ呉レト云フヤウナコトヲ勸誘スルコトガ、必要デハナイカト云フコトガ一點ト、モウ一ツハ、サウ云フコトヲ指導スル指導員ノ愛國心ニ期待スルノミナラズ、何カ成績ノ舉ルヤウナ、獎勵スルヤウナ方法ヲ講ジテハドウカト思ツテ居ルノデスガ、如何デセウカ

○西尾委員 其ノ貯蓄指導員ノ問題デアリマスガ、私共ノ知ツテ居ル所デハ、翼賛會ノ人ニシマシテモ、從來餘リ活動シテ居ナカツタデハナイカト思フノデアリマス、田舎ノ方ハ勿論能ク分ツテ居ルノデアリマス

○氏家政府委員 毎日額ヲ合セテ居リマス、隣組ノ人達ニ對シテ、組長ガ改マツテ貯蓄ニ付テ講釋ヲシタリスルコトハ、非常ニ辛イ場合ガアル、其ノ爲ニ旨ク推進ガ出來ナイト云フヤウナコトモ、實ハ今回全國ニ貯蓄組合指導員ヲ設ケマシタ一ツノ理由ニナルノデアリマス、或ル隣組ナリ、町會ナリデ非常ニ成績ヲ舉ゲテ居ルヤウナ人ヲ委嘱シマシテ、此ノ人ガ自分達ノ方デヤツテ居ル事柄ヲ、外ノ隣組、或ハ貯蓄組合、町會ト云フヤウナ方面ニ行ツテ指導スル、サウスレバ、毎月額ヲ合ハセテ居ル爲ニ、言ヒニクイト云フヤウナ點ガ多少除カレルノデアリマス、スウ云フ方面ニモ實ハ效果ヲ狙ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ人達ニ對シテ、何カ國民生活上ノ基準ヲ示シテヤレバ、非常ニ工合ガ好イト云フコトモ考ヘ得ルコトデアリマス、實ハ此ノ基準ノ問題ト云フノハ、餘程ニハ考ヘモノナノ

デアリマシテ、同じク家族五人暮シト云ツテモ、其ノ子供ガ專門學校ニ行ツテ居ル場合、國民學校ニ行ツテ居ル場合、又學校トノ距離ノ關係モアリマス、又子供ガ丈夫ト場合ト弱イ場合ト違フノデ、中々示シクイノデアリマス、ノミナラズ時々刻々——ト申シマシテハ言ヒ過ギカモ知レマセスガ、昨日マデ働イテ居ツタ人ガ、モウ今日軍隊ニ行ツテシマフ、其ノ代リ此ノ間マデ學校ニ行ツテ居ツタ者ガ、今度工場ニ働キニ行ツタ爲ニ、收入ガ殖エルト云フヤウナコトガ始終起ルノデアリマス、カラ、是ハドウシテモ課税ノ時ニ使フヤウナ標準、或ハモウ少シソレヲ複雜ニシタ位ノ標準デハ、追モ追ツ付カナイノデアリマス、隨ヒマシテ大體ノ見當位ハ持つテ居ラナケレバナラナイと思ヒマス、ケレドモ、是ハドウシテモ具體的ノ事情ニ應ジテヤツテ行クヨリ外ナイ、サウ云フ考ヘ方カラシマシテ、ヤハリ先程申上ゲマシタ貯蓄組合ノ指導員ト云フヤウナ練達ノ士ヲ使ツテ、個々ノ事情ニ應ジテ負擔ヲシテ貰フト云フヤウナコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテサウ云フ人達ガ仕事スル上ニ勵ミニナルヤウニ、斯ウ云フ人達ニ何カ特別ナ獎勵ノ方法、是モ只今デモ色々ヤツテ居リマス、ケレドモ、今後モ斯ウ云フ方面ニ非常ナ獻身ノ努力ヲシタト云フ人ニ對スル表彰ト云フヤウナコトハ、十分考ヘテ行ク積リデアリマス

○西尾委員 現在ノ基準ニナツテ居リマスノハ市民税デアリマス、是ガ非常ニ大マカナモノデアツテ、寧ろ之ヲ基準ニサレテ居ル爲ニ、色々實際ニ副ハナイヤウナコトガ行ハレテ居ルノデアリマス、全然ナイナラバ別デアリマス、ケレドモ、斯ウ云フモノガアルトスルナラバ、何モキツチリソレニ割當テテ、ハツキリシタ數字ガ出ルト云フノデハナク、モツト妥當ナ基準ガ何カ得ラルルノデハナイカ、斯ウ私ハ考ヘテ質問シタ譯デアリマス、例ヘバ五千圓以下デシタカノ收入ノ者ニハ、家賃——住宅ノ賃賃價格ヲ以テ市民税ガ決メラレテ居ルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテモ、相當ナ收入ガアリ、財産ノアル者デハ、七十圓ノ家賃ノ家ニ住ンデユツタリシテ居ル者ト、家族ノ多イ關係上、家ノ廣サト云フ點カラ言ツテ、非常ニ無理ヲシテヤハリ六、七十圓ノ家賃ノ家ニ住ンデ居ル者トアル、其ノ場合ニ於ケル市民税ガ大體同様デアリマス、カラ、ソレニ對シテノ國債債券等ノ割當ガ、大體同ジヤウニナツテ來ルノデアリマス、其ノ結果一方ハ苦シンデ居ル、一方デハモツト多ク出セルト云フヤウナ事情ガ現在アルノデアリマス、サウ云フ意味デ現在ノ市民税ヲ基準ニスルト云フ所カラ、ドウモモツト吸上ゲラレル方向ガ吸上ゲガ利カズ、サウシテ一方ニハ非常ニ無理ガ行ハレテ居ルト云フ事情等ヲ考ヘマシテ、モツト他ニ適當ナ基準ハナイカト思フノデアリマス、如何デアリマス

○氏家政府委員 地域組合ノ貯蓄や國債債券ノ隣保消化ノ標準ニ、市民税ヲ使ツテ居ル例ヲ御舉ゲニナツタノデアリマス、實ハ市民税ナドヲ標準ニ使ツテ居リマス所ハ、マダ是ハ隣保組織ノ十分ニ發達シテ居ナイ所、其ノ機能ガ極メテ不十分ナ所ナノデアリマス、國債債券ノ隣保消化ガ始マリマシタノハ、サウ古イコトデハナイノデアリマス、實ハ發達ノ初期ニ於キマシテハ、其ノ組ノ内ノ資力ノアル者ガ一手ニ引受ケ

テ、他ノ者ニハ割當テナイト云フヤウナコトヲヤツタリ、或ハ頭割デ割付ケテ見タリ、

是ハ極メテ發達ノ初期ニアルモノト思フノデアリマス、ソレガ今度ハ市民稅ヲ標準ニシタリ、所得稅ヲ標準ニシタリスルヤウニナツテ來ル、所ガ御話ノヤウニ市民稅ト云フモノハ、是ハ何モサウ資力ヲ的確ニ現ハスモノデハナイノデアリマス、一應ノ標準トシテハ宜シイト思フノデアリマスガ——又所得稅ニ依存スルト云フモノ、是非非常ニ危險ナコトナノデアリマス、隨ヒマシテ、モツト經驗ヲ經、隣組オ互ヒノ間デ、資力ナドモ段々分ツテ來ルヤウニナリマス、ソ

ンナ粗ツボイ標準ハ使ハナクナツテ來ルノデアリマス、都會地ニ於キマシテハ、餘程地方ヨリハ難カシイトハ思フノデアリマス、レドモ、地方農山村ナドニ行キマス、ソ

ンナ大雜把ナリ方ハ、ヤツテ居ラナイ所ガ多イノデアリマス、而モ其ノ都度色々皆ガ協議ヲシ合ヒマシテ、彼處ノ家ハ先月マデハ斯ウ云フ風ニ御願ヒシテ居ツタケレドモ、病人モアツテ困ルヤウダカラ今月ハ斯ウシテ上ガマセウ、其ノ代リ彼處ノ家ハ子供サ

ンガ勤メニ出ルヤウニナツテ、收入モ月ニ二、三十圓ハ殖エルヤウニナツタカラ、今月カラハ斯ウ云フ風ニシマセウトカ、實際拜イ所ニ手ノ届キヤリ方ヲシテ、法律ヤ命令ヲ以テシテハ規定スルコトノ出來ナイヤ

ウナ、實情ニ適シタ標準ヲ使ツテ居ルト云フ所ガ非常ニ多イノデアリマス、隨ヒマシテ只今例トシテ舉ガラレマシタ市民稅ヲ標準ニ使ツテ居ル現在ノ東京市ノヤリ方、是ハ過渡的ノモノデアリマシテ、此ノ儘ニシテ何處マデモ押シテ行ケルモノトハ思ツテ居リマセヌシ、是ハ早速モツト——親切ナ

割當ノ仕方ニスルヤウニ、十分ナ指導ヲ加ヘル積リデ居ルノデアリマス

○西尾委員 私ノ申上ゲマシタ實例モ、實ハ大阪ノ實例デアリマシテ、大阪ハ昨年モヤハリ、町會聯合會ニ市民稅ニ基イテ何萬圓、ソレカラ又ソレガ各町會ニモヤハリ市民稅ニ基イテ何千圓、斯ウ分ケラレテ來タ、サウ云フ分ケ方ヲ市役所ノ方カラ、非公式デアリマスルガ大體、内輪ヲ見セテ貰ツタ

ト云フ形デ來テ、ソレガヤハリ隣組ヘ來テ居ル狀態デ現ニ行ハレテ居ルノデアリマス、地方ノ方ニ於キマシテハ、御話ノヤウニ、御祭リガアツテ、ソレニ對スル寄附ヲドウスルカト云フヤウナコトデモ、大體モウ年

中行事ノヤウニ、何處ハ一級デ、何處ハ二級デ、何處ハ三級デト云フコトハ決マツテ居ルノデスカラ、地方デハ非常ニウマク行ツテ居ル話ヲ聞イテ居リマスガ、最モ貯蓄

ノ負擔能力ノ多イ都市程、是ガ困難デアルト云フ實情ニ鑑ミ又實際ノ成績モ都市ガ割合ニ惡イト云フ點ヲ考ヘテ見マス、茲ニヤハリ都市本位ニ、何カ工夫ヲ凝ラサナケ

レバイカスノデハナイカト云フ意味デ、今ノ質問ヲ致シタ譯デアリマス、現ニ東京デモ大阪デモ、市民稅ヲ中心ニシテヤツテ居ルト云フ事情デアリマスカラ、是ハ篤ト一ツ御工夫ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス、サウシテ、サウ云フ意味ニ於テハ、ヤハリ勸誘スル者モ何カ基準ガナイト、

マスカ、指導者教育ト云フカ、大イニソレヲ中心ニヤルト云フ御考ヘハ贊成デスガ、

今氏家局長カラ御話ノヤウニ、地方ハ今日マデ相當徹底シタ方法デヤツテ居ル、問題ハ大都市ナノデスガ、指導者教育ノ狙ヒ處ハ、大都市ノ指導者ト云フ譯ナンデセウカ、大都會モ地方モ一緒ニヤツテシマフト

云フヤウナ御考ヘナノデセウカ、ソコロ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○氏家政府委員 國民貯蓄組合指導員ノ制度ハ、昨年ノ秋第二豫備金支出ヲ仰ギマシテ、之ヲ設ケルコトニ致シタノデアリマスガ、人選ヲ慎重ニシナケレバ、十分ナ效果ヲ期待スルコトガ出來ナイノデアリマス、

又人選ガ適當デアツテモ、此ノ人達ニ對シテ相當講習ヲスルト云フヤウナ必要モアルノデアリマスカラ、漸次其ノ數ヲ殖ヤシテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、大體一

渡リシマスノガ、十八年度中ト云フコトニナルノデアリマスカラ、其ノ曉ニハ全國ニ二萬四千名位ノ者ガ配置サレルコトニナルト思ヒマス、併シ其ノ途中ニ於キマシテ、先ヅ都會地ノ方カラ始メマシテ、漸次地方ノ方ニ及ボスト云フヤウナ方針デ進メテ居リマス、目下三分ノ一程度ノ人選ガ終了シテ居ルノデアリマス、ソレモ主トシテ都會地ノ方ニ重點ヲ置イテヤツテ居ル次第デゴザイマス

中改正法律案ニ關シテ、御尋ネシテ置キタイコトハ、昨日ノ讀賣報知ヲ見マス、大藏

大臣ハ公債ノ千億、二千億恐ルニ足ラヌト御聲明サレテ、洵ニ意氣壯ンナリト新聞モ書イテ居リマス、從來ノ健全財政ハ決戰財政ニ移行シタノデアルト云フ、ソレニ付テ大藏大臣ノ議會ニ於ケル態度、度量ハ閣僚中デモピカ一ダト言ウテ、讀賣ヲ呈シテ居リマスガ、私共同感デアリマス、大藏大臣ガ過

グル昭和十三年ニ、八十億國民貯蓄ヲ掲ゲラレマシタ際ニ、全國民ハ此ノ大キナ金ガ貯蓄出來ルモノデアラウカト言ツテ、非常ニ懸念ヲ致シテ居ツタノデゴザイマスガ、其ノ懸念ヲ吹キ飛バシマシテ、優ニ八十億ヲ突破スルノ好成绩ヲ御舉ゲニナツタノデゴザイ

マス、十四年ニハ百億、十五年ニハ二百二十億、十六年ニハ百七十億、十七年ニハ二百三十億、來年度ハ二百七十億ト云フガ如キ、累進的ナ此ノ大キナ國民貯蓄ヲ致スト云フコトハ、先般ノ千億、二千億恐ルニ足ラス、

我が國ノ財政ハ大磐石デアルト云フコトヲ、天下ニ聲明セラレタコトニ付キマシテハ、全國民齊シク安心ヲ致シテ、來年度ニ於ケル二百七十億貯蓄ニ對シテモ、一路邁進スルコトト、固ク信ジテ居ル者デゴザイマス、實ハ「アメリカ」ハ、御承知ノ通り昭和十六年ニ、國富ガ六千億「ドル」ト稱シテ居リマシタ、其ノ當時ノ日本金ニ直

セバ、二十兆七千億「ドル」ト云フコトニナツテ居ツタノデゴザイマスガ、御承知ノ如ク外交ハ杜絶致シ、今ハ何等「アメリカ」ノ「ドル」ヲ、日本金ニ直シテ三倍、四倍ニスル必要ハナクナツテ來タ、殊ニ金貨本位ハ今日ハ廢セラレマシテ、十六年ノ五月十一ノ「アメリカ」ノ公表ヲ見マス、全世界ニ金

貨ガ三百億「ドル」アル中デ、「アメリカ」ノ保有ハ二百二十五億二千五百萬「ドル」デアツテ、七割五分強ニ達シテ居ルト言ヒマスガ、此ノ金ハ戰時ニ何等ノ效ヲナサナイ、今日ハマルデ石コロノヤウナモノデアアル、斯様ナ状態ニナリマスレバ、「アメリカ」ノ「ドル」モ日本ノ一圓モ、今日ハ同ジ價值ヲ持つテ居ルモノト、私ハ信ズルノデゴザイマス、其ノ一例ハ「アメリカ」ガ軍艦一隻造ルノニ、假ニ一億「ドル」要レバ、日本モ一億圓デ建造ガ出來ルト同ジデアリマス、我が國ノ國富ハ、御承知ノ如ク日清戰爭當時ハ百六十億、日露戰爭ノ當時ハ二百二十億、大正十四年ガ一千億デアツテ、昭和十五年ガ千五百億ト推定セラレテ居ツタヤウデアリマスガ、其ノ後ノ我が國ノ情勢ハ、大東亞戰爭以來我が皇軍將兵諸士ノアノ肉彈的ノ血ヲ流シテ獲得セラレタ所ノ南方ノ地下資源、或ハ地上物資等ヲ計算スレバ、私ハ數千億ニナルノデハナイカト思ヒマス、又國民所得カラ行キマシテモ、日清戰爭當時ニハ僅カ二億八千萬圓、日露戰爭當時ニハ十億、事變前ニハ百四十億、今日ハ五百億ト稱シテ居ラレマスコトカラ計算シテ見マシテモ、我が國ノ財産ハ四、五倍ニナツテ居ルノデハナイカト考ヘマス、千五百億ノ四倍、實ニ六千億圓ノ國富ニナツテ居ルノデハナイカト存ジマス、サウスレバ「アメリカ」ノ六千億「ドル」ト日本ノ六千億圓ハ、同ジ資格デアリマシテ、寧ろ今日デハ日本ハ凡ユル物資ニ於テ、戰爭用物資ニ付キマシテモ、唯船ガ少イ爲ニ手ニ入ルノガ遅イダケデ、何等困ルコトハアリマセヌガ「アメリカ」ノ如キハ、例ヘバ鐵デゴザイマス、是ハ數字ハ申上ゲマセヌガ其ノ數字ガ

出マシテモ、之ニ非常ニ重要礦物ガ要ル、其ノ重要礦物ハ主ニ支那、南洋方面カラ得テ居ツタノガ、ソレガ今ハ行カヌガ爲ニ、其ノ鐵ハ寧ろ持腐レノ觀ガアルノデハナイカ、斯様ニ信ズル時ニ、我が國ノ國富ハ實ニ全世界第一番ニナツタノデハナイカト、私ハ推定スルノデゴザイマス、此處ニ大藏大臣ガ着眼セラレテ、一千億、二千億ノ公債恐ルルニ足ラヌト言ハレルノデアラウト、私モ信ジテ居リマス、全國民モ今ハ物ガ不自由デアルト云フノデ、如何ニモ貧乏ニナツタヤウナ感じヲ持つテ居ル者モアリマスガ、サウデハナイ、持タザル國ガ世界一トナリ、持つタ米英ガ墜落ニ移行ラ致シテ居ルト云フコトハ、爭フベカラザル事實デアリマス、此ノ點ニ於キマシテ、我が國ノ財政ハ磐石ナリト云フ大臣ノ御考ヘニ付テ、モウ一度御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

○賀屋國務大臣 只今御話ノアリマシタ御觀察ノ方向ハ、私モ御同感デアリマス、結局財政ハ國家ノ經濟ノ一部面デアリマシテ、國家ノ財政ハ國民カラ其ノ收入ヲ得ル譯デアリマス、隨ヒマシテ結局財政ノ基礎ト云フモノハ、國民ノ經濟力ニアル譯デアリマス、國民ノ經濟ノ基礎ハ、何デアルカト申セバ、物的ノ天然資源及ビ之ヲ利用シ得ル位置ニマデ持つテ來マス、所謂生産加工、運輸ノ設備、是等ノ設備ヲ動カス爲ノ技術勞力、詰リ天然資源、設備及ビ人力竝ニ是等ノモノヲ如何ニ國家全體ノ目的ニ照應スルヤウニ動カシ得ルカ、經濟ノ計畫運用統制ト申シマス、其ノ能力、正確ニ申セバ私ハ此ノ四ツガ基礎デアラウト思フノデアリマス、此ノ四ツノモノニ付キマ

シテ吟味致シマスナラバ、結局一國ノ經濟力ハ分ルト思フノデアリマス、丁度御話ノヤウニ、我が國ヲ中心ト致シマス經濟ノ基盤ハ、我が國ノミナラズ滿洲國、中華民國、佛印、「タイ」「ビルマ」及ビ南方諸島「マライ」トナリマス、是ハ地域的ニ言ツテ世界ノ現在ノ經濟圈及ビ將來構成サレントスル何レノ經濟圈ニ比較致シマシテモ、面積的ニ毫モ劣ルモノデナイノミナラズ、既ニ判明ヲ致シテ居リマス地下埋藏物資資源ノ種類及ビ分量ニ於テ極メテ優秀デアルト云フコトモ亦論議ノ餘地ノナイ所デアリマス、人口ニ付キマシテモ、是亦非常ナ多數ノ人口ヲ包容シテ居ル所デアリマス、大體利用シ得ル人口ト云フモノハ、二億位ハドウシテモ要ルト思ヒマス、「ドイツ」ガ「ヨーロッパ」デ經濟圈ヲ作リマス、大體人口ハ二億以上ニナリ得ルト思ヒマス、北米合衆國ガ北米ニ於テ一億以上、周圍ノ中南米等ヲ入レマシテ、先ヅ役ニ立ツト言フト、色々曖昧デアリ語弊モアリマスガ、マア二億以上ノ人口ト云フコトニアノ圈ハ考ヘラレルト思フ、東亞ノ圈ハ無論人口總數ニ於テハ二億三億トコロデハナイノデアリマスガ、相當有效ニ活用セシムルモノモ、無論二億以上ニナリ得ル譯デアリマス、斯クノ如ク三個ノ點カラ考ヘマシテ、其處ニ十分ナ基盤ガアル、尙ホ此ノ經濟ヲ計畫統制的ニ運用シテ、所期ノ目的ニ、資源ナリ設備ナリ、運輸力ガ入り得ルヤウニスル、能力ニ付キマシテハ一方カラ申シマス、非常ニマダ足ラヌト云フ方面モアリマスケレドモ、何シロ昭和十二年ニ初メテ日本ノ計畫統制經濟ガ實行ノ端ヲ發シマシテ、爾來五六年ノ間ノ進步ハ、現在

ノ段階ニ於テ缺陷ハ多ク認メマスケレドモ、現在ニ於テ年ニ二百數十億ノ豫算ヲ運用シ得ルノデアアル、當時ハ二十億代モ三十億代モ困難デアツタ、是ハ當時唯氣ガ小サクテ困難デアツタカト言フト、サウデハナイノデアリマス、經濟組織ガ實際ニヤレナイ狀況デアツタノデアリマス、現ニ昭和十一年ニ於テ豫算ガ一舉七億圓——今デハ七億圓位ハ誰モ一舉ナドト云フ言葉ハ使ヒマセヌガ、當時ハ大變ナ膨脹デアリマシテ、日本ノ正金銀行ハ直グ在外資金ガ涸渴シマシテ、「ニューヨーク」ノ店ナドハ閉メナケレバナラヌト云フ程ノ危險ガ實際起ツタ、計畫的ニ經濟ヲ運行スル組織ガ出來テ居リマセヌカラ、僅カ二十三億ノ豫算ガ三十億ニナルト云フノデ——モウ現實サウナツタ、ソレカラ見マス、何ト申シマシテモ年々數十億、數百億ノ豫算ヲ運用シテ行キ、是ダケノ仕事ヲスル爲ニハ、部分的ニハ缺陷ガアリマスガ、經濟ノ運用能率ト云フモノハ、全體的ニハ非常ナ速度デ進ンデ居ルノデアリマス、是ハ益ニ是カラノ工夫ト努力デ進ミ得ル譯デアリマス、經濟ノ三要素ト申シマス、統制運用ノ四要素ヲ入レマシテ、是ハ何處カラ言ヒマシテモ、今古田君ノ御話ニナリマスヤウニ、世界第一等ノ經濟圈、國防經濟力ノ背景ニナリ得ル基礎ハ、明白ニ出來テ居ルノデアリマス、要ハ今カラノ努力ニ依リマシテ、其ノ設備方面ヲ充足スル、生産確保及ビ運輸ノ方面ヲ充足シテ行ク、是ハ戰爭ニ勝ツ爲ニヤラナケレバナリマセヌ、其ノヤルコトガ即經濟ノ膨脹ニナルト云フ體制ニナツテ行キマス、サウ云フ風ニ具體的ニ財政力、經濟力ノ要素ヲ吟味シマシテ、明瞭ニ其處ニ行キ得ル體制ガ出

來テ居ル、尙ホ他ノ機會ニモ申上ゲマシタガ、昭和十二年以來十七年マデ、現實ニ同様ナ方角ニ歩ミナガラ、實績ヲ擧ゲテ居ル譯デアリマス、アノ間ニ於ケル急速ナル日本ノ國防經濟力ノ増強、是ハ今申シタヤウニ着々大陸ノ資源ガ日本ノ利用ニ加ハツテ行キ、現在生産設備モ五箇年間ニ三百億圓以上ノ投資ヲ致シ、ソレモ從來ノ如ク、漫然ト企業家ガ利益ノ多イ所ニ好シク色々増加致スニアラズシテ、計畫的ニ行ヒ、部分的ニハ計畫宜シキヲ得ナカッタモノモアリマスガ、大體ハ重點主義ニ國防力ヲ増スヤウナ計畫ニ行ハレテ居リマス、三百億圓以上ノ投資ヲナシ得テ居ル、戰費ハ四百數十億圓既ニ支辨シ得テ居ル、サウシテ如何ナル影響ガ國內ニアルカト言ヘバ、物的生産力ノ増強ノ爲ニ、國民消費産業ハ壓縮致シマスガ、而モ是ハ國民生活ガ出來ナイト云フ、狀態デハナイ譯デアリマス、尙ホ是ハ私共當局者トシテハ、稍、放言ニ屬スル嫌ヒガアルカモ知レマセヌガ、過去ノ經濟時代ニ於テ何年カニ一度參リマス不景氣ノ時代ニハ、一家心中ガアリ、首縊リガアリ、夜逃ガガアリ、國民經濟上幾多悲惨ナル出來事ガアリマシタガ、事變以來、恐ラク昭和十二年以來ハ、サウ云フコトハ殆ドナイト言ツテハ言ヒ過ギルカモ知レマセヌガ、遠慮シテ言ツテモ、殆ド少クナツテ居ルノデハナイカ、多少不自由ハアルヤウデアリマスガ、國民ノ生活ト云フモノハ、サウ云フ意味カラ言ツタラ、寧ロ改善サレテ居ル部面ガアルト思フ位デアリマス、是ハ何レノ大戰爭當時ニ於ケル國民生活ニ比ベテモ、寧ロ優良デコソアレ、劣惡ナモノデハ日本ノ狀態ハナイ譯デアリマス、何處カラ打

診ヲ致シマシテモ、私ハ悲觀ノ要素ガナイ、ソレデハナゼ色々心配ガ起ルカ、ソレハ非常ナ進歩ヲ致シタカラ、尙ホ大事業ヲナサシ爲ニ、詰リ大敵ヲ挫ヘテ居ルカラ、一生懸命ニナルダケデ、基本的ニハ何モ日本ハ減ズルモノハナイ、減ジタモノハ日本銀行ガ持ツテ居ツタ金貨十億ヲ「アメリカ」ヘ送ツテ、戰爭ニ必要ナ物ヲ買ツタダケデアリマス、今ノ天然資源デアレ、人力デアレ、生産設備デアレ、此ノ戰爭ニ依ツテ破壊的ニ奪取サレルト云フコトガナイ有難イ國デアリマスカラ、増強ノ一途ヲ辿ツテ居ル、是ハ五箇年間ノ戰爭經濟ガ實證ヲシテ居ル、而モ新タニ最モ資源ノ豐富ナル南ガ加ハツテ參ツタノデアリマス、ソレデアリマスカラ公債ナドハ餘計出スホド、私ハ確實ニナルト思ヒマス、ナゼナラバ出セバ出スホド、斯カル開發ガ餘計出來テ行クノデアリマス、ソレコソ今ノ經濟力ガ完成シテ行クノデアリマス、是ガ若シ公債ガ殖エマセヌデシタナラバ、左様ナコトハ出來ナイ、戰爭ガ縮ツテシマツテ、開發モ何モ出來ナイノデアリマスカラ、ソレダケノ經濟力ハ出來ナイノデ、是ホド私ハ不安ナコトハナイト思フ、他ノ社債ニシマシテモ何ニシマシテモ、出セバ出スホド早く安全ニナル、併シソレハ物的生産力ガ伴ハナイノニ、紙ヤ證文ダケ出シタノデハ、是ハ要スルニ頭ガ先ニ出過ギテ、足ガ伴ハヌモノデアリマスカラ、其ノ弊ハ防ガナケレバナリマセヌガ、此ノ足腰ガ出マサル程度ヘ、ドン／＼其ノ狀態ガ進ンデ、餘計公債ヤ社債ナドヲ出スホド、急速ニ立派ナ經濟基盤ト云フモノガ、具體的ニナル證據ダと思フノデアリマス、之ヲ平時ノ如ク靜止シタル國情ナド考ヘマズレ

バ、公債ガ殖エレバ是ハ心配ノ種ニナルガ、サウ云フ平時ノ靜止シタル狀況ニ於ケル觀察ト、今ノ日本ノ國情ニ於ケル觀察トハ、全ク觀察スベキ基礎條件ガ違フノデアリマスカラ、御話ノ如ク私ハ斯ウ云フモノハ悲觀トカ樂觀デナク、モウソコヘ行ク一途アルノミ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、戰時ダカラ平時ト違フ考ヘダト云フヤウナ、サウ云フ漠然タル考ヘデナク、今ノ大東亞戰爭其ノモノノ經濟的特質ト云フモノヲ考ヘテ、サウナルノダ、斯ウ云フ固イ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○古田委員 能ク分リマシタ、先程申上ゲマシタヤウニ、金ハ戰爭ニハ何等役立タヌノデアリマシテ、將來モ金ハ私ハ唯家庭用トカ、贅澤ニ使フ位ノ程度デ、今日日本デオヤリニナツテ居ル産金事業等ハ、此ノ場合御廢メニナツテ、戰力増強方面ニ轉換セラレル御意思ハアリマセヌカ、之ヲ御同ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 金ハ之ヲ「アメリカ」ニ送りマシテ、石油ナリ、銅ナリ、機械ナリ買ヘタ時代ニハ、詰リ軍需品其ノモノデアリマスカラ、結局軍需品ニナルノデアリマス、御承知ノヤウニ産金政策モ盛ニ執ツテ參ツタノデアリマス、併シ今御話ノヤウニ、之ヲ輸出シテ軍需物資ヲ獲得スルト云フ時代ハ過ギマシタ、其ノ意味ニ於テ金ノ必要ト云フモノハ非常ニ減ジタノデアリマス、今ノ大キイ目カラ見レバ、殆ド必要ナイノデアリマスガ、併シ小サイ所ヲ色々計算シテ見マスト、例ヘバ日本デモ聯合側、敵側ニハ無論參ツテ居リマセヌガ、樞軸側以外ノ中立國ナドニハ、相當今人ヲ出シテ居リマス、是等ハ世界ノ外交戰、諜報網等ノ上ニ

於テ極メテ重要デアリマス、サウ云フモノモ金額ニシテハ小サイヤウデアリマスガ、ソレデモ何千万圓——千万圓單位ノ金ガ要リマス、サウ云フ風ニ餘リ大キナ大局ノ議論ヲシマス時ニハ、勘定ニ入ラナイモノガヤハリアリマシテ、一年ニ何ガシカノ金ハ要ルノデアリマス、其ノ程度ヲ計算シマシタ、其ノ程度ヲ處分シ得ル範圍ニ金山ト云フモノヲ縮メマシテ、今年ニハ整理計畫ヲ立テマシテ、能率ノ悪い山ハ之ヲ整理シテ、能率ノ良い山ヲ今ノヤウニ計畫的ニ、是位ハ出ス必要ガアルト云フ見當カラ、其ノ範圍ニ産金政策ノ轉換ヲ致シマシテ、其ノ必要ナルモノハ、既ニ御審議濟ノ豫算ノ中ニモ計上シテアル、斯ウ云フ次第デアリマス、尙ホ今後ハ寧ロ南方ニ於テ金ノ増産維持ガ必要ナ時代ニハ、南方デ増産シテ、國內ノ増産ト云フコトハ、當分ハ是レ以上ヤル必要ハ恐ラクナイデアラウ、今年ノ計畫デ殘ルモノヲズツト續ケテ行ク、斯ウ云フ風ナ考ヘデ居リマス

○古田委員 本年ノ二百七十億貯金ニシテモ、無論國民ガ全力ヲ擧ゲテ之ニ突進シヨウト思ウテ居リマス、私共隣組ヲ通ジテ、今日マデ貯蓄、或ハ公債消化等ヲ能ク檢討シテ見マスト、其ノ中デ一番氣ノ毒ナノハ官吏ノ方デス、御承知ノ通り先般來小學校教員ニハ非常ニ全國國民ガ同情致シマシタ爲ニ、本年ハ師範學校卒業生ガ初任給七十五圓ニモ上リ、又中等學校ノ教員モ、來年度ハ上ルト云フ文部大臣ノ聲明モアリ、又産業戰士或ハ一般勤勞者ニ對シテハ——勤勞者ト申シマシテモ工員デス、斯ウ云フ方面ニ對シテモ、厚生大臣ハ考慮スルト言ウテ居ラレマスガ、私ハサウ云フマチ／＼ノコトハ申

上ガマセス、マチノノコトヲ申上ゲマスルナラバ、寧ろ大藏大臣ノ所管デアル所ノ地方ニ於ケルアノ監督局、稅務署、等ニアル人々ト云フモノハ、他ノ官吏ニ比ベテ從來三倍位ノ能率ヲ擧ゲテ居リマス、而モソレガ國民ト最モ接觸致シテ、ドレ程國民ノ爲ニ此ノ人々ガ骨折ツテ居ルカ、苦心ヲシテ居ルカト云フコトガ窺ハレルノデアリマス、又他面——是ハ内務省所管ニナリマスガ、内務省所管ニ於ケル警察官ノ如キガ、初任給今尙ホ四十圓デス、巡查部長二十年モ長ク居ツテ漸ク五十圓、警部補ガ五十五圓、最高六十圓位ノ程度デアル、昭和六年濱口内閣當時、百圓以上ハ一割乃至二割ノ減俸ヲセラレ、其ノ下ノ方々ハ据置デアリマスガ、此ノ戰爭ニナツテ僅カ俸給ノ一割ダケヲ支給シテ居ラレマスガ、是ハ其ノ儘貯蓄ニ向ケテ居ラレマスノデ、實際受取ルモノハ元ノ俸給其ノ儘デス、ソコデ隣組デ公債貯蓄ノ御話ヲ致シマスガ、其ノ場デ額ナドヲ決メルノデアリマスガ、斯ウ云フ官吏ノ方々ハ、表向ハ官吏デアツテ、何レノ方面ニモ國民ノ指導者ノ立場ニアラレマスノデ、成ベク世間體ヲ思ウテ、例ハ公債ノ十圓ノ御買ヒニナリ、翌日ニハソレヲ七圓賣ラネバ立ツテ行カナイト云フガ如キ、實ニ氣ノ毒ナコトヲ私ハ承知致シテ居リマス、成程日本ハ今日マデ家族制度デアリマシテ、醇風美俗ノ習慣ガアリマス、又隣保共愛ノ精神ガアリマスカラ、餓死スル人ハ一人モアリマセヌ、生活ニ付テハ安定致シテ居リマスガ、金ノコトニ付テハ、今日官吏ノ方々ガ齒ヲ食縛ツテオヤリニナツテ居ルコトヲ、私ハ承知致シテ居ル、私ハ何モ官吏ノ提燈ヲ持ツノデハナイ、實情ヲ知ツテ居ルカラ申上

ゲルノデアリマスガ、來年度ノ豫算ハ三百六十億、勅任、奏任、判任、此ノ官吏ノ方々ハ三十一万五千人デハナイカト思ヒマスガ、待遇官ガ數十萬、合計數百萬人位デハナイカト存ジマスガ、假ニ月三十圓程思切ツテ増額シテ貰ツテモ、一年ニ三億六千萬圓デス、三百六十億ノ豫算ニ比スレバ一分ニシカ當ラナイ、ドウゾ稅務署ノ官吏、警察官、サウ云フヤウナ區切デナシニ、全面的ニ官吏諸君ニ増俸セラレテ、凸凹ヲ一ツ直シテ貰ヒタイト思フ、北海道ノ或ル會社ニハ社長ガ年俸七萬圓、手當ガ八萬圓、合計十五萬圓取ツタ方モアルヤニ承ツテ居リマスノデ、大臣閣下ガ八千圓ヤソコラデハ、洵ニ私共才氣ノ毒ニ思ヒマス、全國民ハ最高峰ニアル大臣ト云フモノハ、恐ラク四、五萬圓ノ俸給ヲ取ツテ居ラレルノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ドウゾ大臣ハ、唯自分ノ俸給ガ上ツテ、ソレデ食ウテ行クト云フノデナシニ、先ヅ自ラサウ云フ權威ノ爲、大臣デアルト云フ其ノ爲ニ、一番上ノ大臣ハ五萬圓位ノ俸給シテ上ハ大臣ヨリ下ハ役場ノ小使ニ至ルマデ、一段ト大決心ヲ以テ、閣議決メテ凸凹ヲ直ホスコトヲ斷行セラレルコトヲ希望スルノデアリマス、總理大臣ハ常ニ涙ヲ以テ接シテ居ラレル、國民モ亦涙デ跟イテ來テ居リマス、唯同情ノミデはガ濟ンデ行クモノデハナイ、他人ノ子供バカリ可愛ガツテ、自分ノ子供ハ泣カヌカラト云ツテ、乳ヲ舐マサヌデ居ルト云フコトハ、餘リ可哀サウデハナイカ、泣カヌデモ乳ヲ舐マサナケレバ、子供ハ育テルコトガ出來マセヌ、ドウゾ此ノ意味デ一ツ閣議デ一般ノ官吏ノ方々ノ俸給ノ凸凹ヲ匡正サレンコトヲ熱望致シマス、物價ノ

如キモ三倍、四倍ニナツテ居ル、煙草デモ現ニ三倍ニナツテ居リマス、殊ニ厚生省アタリデハ、男ハ二十五歳、女ハ二十歳デ結婚セイト獎勵サレテ居リマスガ、二十五歳ノ青年ハマダ三十五圓、四十圓ノ月給取リデス、自分一人ガ食ヘマセヌ、今日人的資源ノ必要ナ場合ニ、人口増殖ヲ頻リニ唱道サレル時ニハ、或ハ妻ヲ持テバ百圓ノ月給ニシテヤルトカ——今日ハ最低百圓ナケレバ立ツテ行カスト思ヒマス、ドウゾ其ノ意味ニ於テ、英斷のニ、全國百萬ノ官吏ノ方々、家族ヲ入レテ數百萬ノ蔭デ齒ヲ食縛ツテ我慢ヲシテ居ル此ノ人々ノ爲ニ、又國家ノ繁榮ノ爲ニ、一段ノ御英斷アラシコトヲ希望致シテ御所見ガ承リタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 官吏ノ待遇ニ付キマシテ、極メテ御同情アル御話デアリマシテ、私モ永年官吏ヲ致シテ居リマシテ、實情モ相當承知致シテ居ルノデアリマス、洵ニ有難ク拜聽致シマス、私共モ二十數年間官吏生活ヲ致シテ居リ、自分及ビ周圍ヲ顧ミマシテ、相當承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、ドウモ一番考ヘナケレバナリマセヌノハ、一面ニ全國民ニ非常ナ苦痛ヲ、戰爭ヲ勝ツ爲ニハ忍ンデ御願ヒシテヤツテ戴カナケレバナラスト云フ問題ガ相當アリマス、増稅ニ次グニ増稅ヲ以テシ、又稅デハアリマセヌガ、非常ニ強力ナ貯蓄ノ推進モセラレマス、今日ノ財政資金ト云フモノハ、此ノ重イ稅ト國民ノ本當ノ汗、膏、忍耐ニ依ル貯蓄、此ノ二ツガ總テノ財源ニナツテ居ル狀態デアリマスカラ、此ノ使ヒ途ニ付キマシテハ、餘程戒心ヲシナケレバナラス、豫算ニシテモ或ル部分ニハ相當弛ミモアルデハナイカト云フヤウナ御説ヲ伺ヒマスコトモ折々アリマス、多クノ中ニハ行届カヌ部面モアルカモ知レマセヌガ、當事者ハ一錢一厘モ忽セニセザル心持デヤツテ居リマシテモ、ヤハリアア云フ多額ノコトニ相成ルノデアリマス、何モ自分及ビ自分ニ近イコトデ氣ガ引ケルカラ、官吏ノ俸給ヲ増サスト云フ譯デモアリマセヌガ、サウ云フ中ニアツテ官吏ノ給與ノ増加ヲスルコトハ、又一面中々各種ノ困難ヲ感ズルノデアリマス、無論今ノ程度デ十分デアリマセヌガ、先ヅ家族手當、是ハ從來ノ考ヘ方カラ言ヘバ、相當思ヒ切ツタ制度デアリマシテ、例ハ五十圓ノ俸給シカナイ人モ、八人家族デアレバ更ニ四十圓貰ツテ、平生ノ殆ド二倍ニモナルト云フ譯デ、家族ノ多イ者ニ對シテハ、相當強力ナ優遇モ行ハレテ居リマス、ソレカラ、昨年ノ秋ニ、簡素化ニ伴ツテ一率ニ一割増シタト云フ點モアリマス、一面カラ言ヘバ是ハ生緩イコトカモ知レマセヌガ、十八年度ノ豫算編成デハ、臨時手當ヲ出スコトニ依ツテ、先ヅ一應此ノ程度ニシヨウト云フコトニナツタ譯デアリマス、無論是デ宜シイト、私共ガ思ツテ居ル譯デハアリマセヌ、殊ニ又官吏デモ或ル部面、只今御指摘ノヤウナ方面ニ付テハ、特ニ御氣ノ毒ニモ感ジテ居リマスガ、御言葉ハ洵ニ御同情ガアルコトデ有難イノデアリマスガ、尙ホ此ノ上トモ研究シテ善處致シタイト存ジマス

○古田委員 經濟觀ガ一變シタノデアリマス、成程豫算ニ付テハ一厘モ無駄ニハナサスト云フ御言葉デアリマスガ、假ニ今ノ俸給ヲ増加セラレテモ、其ノ金デ直チニ贅澤ヲシヨウト云フノデハナイ、今日與ヘレバ明日ハ貯蓄ニナルノデアアル、直グ政府ニ廻

リ戻ルノデアリマスカラ、從來ノ自由經濟當時ノ如ク色々ナ着物ヲ買ツタリ、旨イモノヲ食ウタリ、贅澤ヲスルノデナイ、本當ニ官吏諸君ノ今苦シシデ居ラレル方々ヲ、一日モ早クオ扶ケ相成ルコトヲ、重ネテ御願ヒ申上ゲテ、私ノ質問ヲ終リマス

○由谷委員長 木下義介君

○木下(義)委員 數箇ノ問題ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、第一ハ曩ニ成立シマシタル臨時軍事費ガ、二百七十億ニ相成ツテ居リマス、又十八年度ニ於テ貯蓄目標ト致シテ居リマス額モ二百七十億圓ト相成ツテ、其ノ計數ガ一致シテ居リマス、如何ナル角度カラ見テ是ガ一致シマシタカ、此ノ點ニ付テ第一ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス

次ニ十八年度ニ於テ斯様ニ一致シマシタ結果、將來ノ貯蓄目標モ、大體斯ウ云フ計數ノ目標ヲ目安トシテ宜イモノデアルカ、之ニ付テ御所見ヲ承リマス

○賀屋國務大臣 臨時軍事費ノ豫算額ト貯蓄目標額トハ、性質上一致スベキモノト云フ譯デハアリマセス、昭和十七年度ノ如キハ、臨時軍事費ノ豫算額ハ、百八十億圓、國民貯蓄ノ目標額ハ二百三十億圓、國民貯蓄ノ目標額ノ方ガ多イノデアリマス、性質上一致スベキモノト云フ譯デハナイ、然ラバ兩者ヲ如何ナル方法デ積算スルカ、臨時軍事費ノ方ハ戰爭ノ所要ヲ考ヘテ計上致スノデゴザイマスガ、國民貯蓄目標額ハ、大體國家ノ歲出所要財源ニ充ツベキ歲入ガ如何ナル方法デ調達サレルカ、是ハ細カイモノモアリマスルガ、大體租稅及ビ租稅類似ノ性質ノモノト、國債ニ依ツテ調辦サレル譯デアリマス、其ノ場合ニ於テ、國債ノ資金

ト云フモノハ何デ出ルカ、是ガ戰爭財政ノ巧ク參リマセヌ國デ、中央銀行ノ借入金、詰リ銀行券ノ増發ヲ基トスルモノデ、所謂公債ノ應募ヲヤツテ行クト云フ形ハ、是ハ不健全ナル方法デアリマシテ、是ハ直グニ經濟上ノ行詰リヲ來スモノデアリマス、隨ヒマシテ是ハ國民ガ蓄積シタ金ニ依ツテ、公債ノ應募資金ガ出來ナケレバナラス、サウ云フ見地カラシテ、先ヅ國費ノ所要ノ中、租稅等ニ依ツテ賄ヒ得ザル部分、國債ニ依ツテ賄フ部分ノ資金ガ、國民ノ貯蓄ニ依ツテ出來ナケレバナラス、是ガ國民貯蓄ノ或ル額ガ必要ナリト云フ大キナ要件デアリマス

第二點ハ戰時ニ於キマシテ、政府自ラノ支出デハアリマセスデ、民間ノ企業形態ニ依ルノデハアルガ、其ノ企業ノ新設、擴張、或ハ改良ト云フモノガ、戰爭遂行ノ爲ニ是非必要デアル、ソレハ船舶等ノ運輸ニ要スルモノデアリマス、鑛山等地下資源ヲ掘リ起シモノデアルトカ、又等ノモノヲ製造致シテ一定ノ製品、結局ハ軍需物資ニナルヤウナモノデアリマスガ、サウ云フ設備、詰リ工場ヲ作ル、是等ガ戰爭ニ必要ナル兵器彈藥、其ノ他ノ軍需品ヲ整備、補充、増強ノ爲ニ是非必要デアル、是ハ民間ノ會社新設、或ハ會社ノ資本ノ増加等ニ依ツテ行ハレ、是ガ株式ノ形態ヲ執リ、社債ノ形態ヲ執リ、又銀行カラノ借入金ノ形態等ヲ執リ、色々ノ場合ガアリマスケレドモ、是ハドウシテモ戰爭遂行ノ爲ニ必要デアルト云フナラバ、其ノ資金ハドウシテモ之ヲ作ラナケレバナリマセヌ、平時ノ如ク、國民ガ斯カルモノニ投資スレバ、ソレガ自然ニ出來ル、投資ガナケレバ出來ナイト云フ狀態ニ任シテ置クコトハ出來ナイ、

必ズ斯カル事業ノ種類ニ應ジ、規模ニ應ジ、國家ノ必要ト認メル限度マデヤツテ參ラナケレバナラス、然ラバ其ノ資金ヲドウシテ作ルカ、是ガ國債ノ場合ト同ジデアリマシテ、徒ラナル銀行券ノ増發ニ依ツテ作ルダケデハ、眞ノ資金ニナリマセヌ、形バカリデアリマシテ、經濟上ノ行詰リヲ日ナラズシテ招來スルモノデアル、結局是ハ國民ノ貯蓄ノ増加ニ依ツテ賄ハナケレバナラス、此ノ二ツガ租稅以外ニ戰時ニ於ケル廣ク國家的ニ見マシテ、戰爭遂行ニ絕對必要ナ資金デアリマス、而モソレハ國民ガ進ンデ勤勞シテ得タル收入、又ハ消費ヲ節約シテ得タル收入ノ剩餘、此ノ蓄積デ出來ナケレバナラス性質ノモノデアリマス、此ノ二ツガ國民貯蓄目標額ヲ決定スル資料ト相成ルノデアリマス、昨年ハ大體ニ於テ公債消化資金ガ百七十億、生産力擴充資金ヲ六十億ト見マシテ、二百三十億ニ相成リマシタ譯デアリマス、本年ハ公債消化資金ガ二百十億、生産擴充資金ガ六十億ト見マシテ、二百七十億トナツタ譯デアリマシテ、無論ソレハ臨時軍事費ノ金額ト關係スルノデアリマスガ、直接同様トナル譯デアリマセス、是ハ又別ノ方面カラ見マスト、去年ハ九十億モ臨時軍事費ヲ増シタノデアルカラ、増稅モ致シタガ、増稅ハ煙草値上ヲ入レテ十六億デ、二十億ニ足ラナイ、公債ヲ七十億位増サナケレバ辻褄ガ合ハナイ、一般會計モ入レバ八十億モ増サナケレバ辻褄ガ合ハナイデヤナイカト云フ感ジモ起リマスガ、今年ノ臨時軍事費財源トシテ、南方開發金庫等ヨリノ借入金三十三億圓、詰リ臨時軍事費ノ財源ガ、全部内地調辦デアツタモノガ、サウデナクナツタ、是ハ別ノ言葉デ言ヘバ、

共榮圈財政ニ第一歩ヲ踏出シテ居ル、ソレガアリマセヌト二百七十億モ臨時軍事費ガアルト、モツト公債ガ餘計出ル譯デ、少クモ三十三億ハ餘計出テ居ナケレバナラス、隨テ國民貯蓄モ、ソレダケデモ二百七十億、プラスノ三十三億、三百億ハ出テ居ナケレバナラス、サウ云フ事情デ本年ノ目標額ハ決マリマシタ譯デアリマス、來年度カラ現地ノ調辦額ガ幾ラニナルカ、更ニ増稅ヲ行フコトニ依ツテ幾ラノ稅收入ニナルカ、歲出豫算ガ軍事費及ビ一般會計ヲ通ジテドウナルカ、是等ノ全體ノ關係カラ決マツテ參リマスカラ、臨時軍事費ノ増加ト云フコトガ、主要ナ原因ヲ成シマスガ、即其ノ數字ガ其處ニ現ハレテ來ルト云フ關係デハナイ、斯ウ云フ次第デアリマス

○木下(義)委員 只今ノ性質論カラ、更ニ各方面ニ互ツテノ御説明ニ依リマシテ、偶、此ノ計數ノ一致シテ居リマスルコトカラシテ、其ノ點ニ付テノ密接ナ關聯性ヲ持ツテ居ルコトガ、御説明以上デアルヤウナ疑ヲ持ツテ居リマシタ向ニ對シテノ疑ヲ非常ニ明瞭ニサシテ戴イタコト思ツテ居リマス

次ニ私御尋ネシタイト思ヒマスノハ、此ノ國民納稅貯蓄組合法並ニ納稅施設法共ニ、今日ノ戰力ヲ増強スル意味合ニ於テ、又聖戰完遂ノ爲ニ緊要ナ法律案デアルコトハ、申上ゲルマデモアリマセスガ、此ノ際大藏省トシテノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマスルノハ、兩法案共ニ國家事務トシテ市町村ヲ活用致シマシテ、此ノ法律ノ目的ヲ達スルヤウニ致サナケレバナラナイ組織ニ相成ツテ居リマスガ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、國家事務ノ市町村ニ對スル委任ノ關係ニ相成ツテ參リマス、曩ニ一昨年實施セ

ラレマシタル國民貯蓄組合法ニ於テモ、市町村ニ對シテ補助金トシテ御交付ニ相成ツテ居リマスルシ、納稅施設法ニ於キマシテモ、交付金又ハ補助金ノ名義ニ於テ交付サレルコトガ規定セラレテアリマスルガ、一昨年御公布ニナリマシタル國民貯蓄組合法ノ實施ノ際ノ市町村ノ實際ノ經費ノ支出ヲ考ヘテ見マス、三分ノ一程度ノ補助額ト、先ツ全體のニハ見テ宜イダウト思ツテ居リマス、此ノ度納稅施設法ニ於テ幾許ノ割合デ御交付ニ相成リマスカ、其ノ點ハ明確ニ此處ニハ現ハレテ居リマセヌガ、從來ノ交付金又ハ補助ノ關係ヲ考ヘテ見マス、各省ノ主管事務ノ場合ニ、當該省デ法令ヲ起草制定セラレマシテ、勿論交付金、補助金ノ伴フモノナラバ、其ノ支出ハ大藏省ト御協議ニ相成リ、御承認ヲ與ヘラレルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、俗ナ言葉デ申上ゲマスナラバ、マアモツト金ハ要ルケレドモ、是位ノ金ヲヤツテ仕事ヲサセヨウデヤナイカト云フヤウナ落デハナカツタカト考ヘラレルヤウナ向ガアルノデアリマス、而モ實際ヲ考ヘマスレバ、施設ノ當初ニ於テハ交付セラレマスルシ、或ハ相當ノ率ニ於テ御交付ニナリマスルケレドモ、施設後ノ——經常的ノ義務ト相成リマスル時分ニハ、交付金、補助金ガ削減セラレ、又ハ全額打切ラレルヤウナ場合ガ、屢見受ケラレルノデアリマス、勿論聖戰完遂ノ爲ニハ、市町村ガ國家事務ノ委任ヲ受ケマシテ、先端トシテ之ヲ遂行シナケレバナライコトハ申スマデモアリマセヌケレドモ、市町村ノ實際カラ考ヘマスルト、稅制ノ改正ニナリマシタル結果、財源ニ於テ非常ニ窮乏スル場合ガアリマスルシ、人的資源ニ於テモ、

中々困難ナ實情デアリマスルノデ、若シ直接國家ノ官吏ヲシテ其ノ任ニ當ラシメマスル場合ハ、人件費、事務費ノ全額ヲ國庫ニ於テ負擔セラルベキハ當然デアリマスルシ、是等ノ事情ヲ十分御考察ニ相成リマシテ、施設ノ當時バカリデナク、之ヲ恆久的ニ實施シマサル時分ニハ、其ノ點ニモ十分ニ御考慮ヲ拂ツテ戴キタイト存ズル譯デアリマスルガ、是等ニ付テ納稅施設法ハ新シク實施セラレル法律デアリマスルシ、將來ニ付テノ御考ヘハ如何デアリマスカ、更ニソレト關聯致シマシテ、目下審議中ノ都制案ニ付キマシテモ、市町村制ニ付キマシテモ、新タニ委任セラレマスル時分ニハ、適當ノ措置ヲ講ズルト云フコトニ相成ツテ居リマス、明文化セラレマシタル點ニ於テ、私共ハ機宜ノ處置トシテ敬意ヲ表シテ居ル事柄デアリマスルガ、將來ノ實際ノ取扱ト致シマシテハ、所管省ノ何レヲ問ハズ大藏省ニ御協議ニ相成リ、更ニ綜合的ノ監督ヲ致シテ居リマスル內務省ガ、其ノ事務ノ内容竝ニ交付金、補助金等ノ歩合ナドニ付テ御協議ニ關與セラレマシテ、市町村ヲシテ眞ニ安ンジテ、嬉シデ其ノ事務ノ遂行ニ最善ノ努力ヲ致サシメルヤウニシテ戴カナケレバナライタイト存ズル譯デアリマス、是等ニ付キマシテノ全般ニ互ル御所見ヲ承リタイト存ズル譯デアリマス

○賀屋國務大臣 市町村ニ國ノ事務ヲ委任致シマシタル場合、經費ノ掛リマスモノニ付キマシテ、國ガ之ヲ考ヘテ適當ノ處置ヲ致スト云フコトハ、當然ノコトデアリマス、其ノ點ハ十分ニ考ヘテ參ル積リデアリマス、只今具體的ニ御指摘ニナリマシタルヤウナモノニ付キマシテハ、實ハ吏員ノ働キニ依ル點ガ多いノデアリマシテ、假ニ國デアレバ官吏ヲ増員シテ、ソレノ俸給、事務費ガ要ルト云フ場面ガ生ズル譯デアリマスガ、只今ハ昨年行政簡素化ヲヤリマシタルヤウニ、大東亞全體ノ建設ヲ考ヘ、南方、大陸、國內ノコトヲ考ヘマシテ、大ナル陸海軍ノ動員ガアリマスル今日、詰リ頭腦ヲ動カス人物ノ配置トシテハ、極メテ人手不足ニナル狀況デアリマス爲ニ、官吏モ平生ノ二倍、三倍ノ働キヲシロト云フ意氣込、又實際ヲ以チマシテ人員ヲ減ジ、之ヲ大東亞ノ各地、其ノ他國內ニ於キマシテモ建設方面ニ轉用スルト云フコトデアリマスカラ、例ヘバ貯蓄問題ニ付キマシテモ、私ハヨク申スノデアリマスガ、租稅ノ三倍以上ノモノヲ、殆ド其ノ機構ガ碌ニナイ狀態デ遂行スル、詰リ民間各種ノ機關及ビ民間ノ關係組織——町内會、部落會、隣組等ノ幹部ノ人々、市町村吏員、國ニ於キマシテモ殆ド所謂義勇軍的意氣込色彩デヤツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、所謂手辨當式働キデヤルヤウナ狀態デアアルノデアリマス、洵ニ經費トシテハ、全面的ニ是ダケノ仕事ト致シマシテハ極メテ少イモノデアリマス、市町村等ニ於キマシテモ、吏員諸君ノ非常ナ活動ヲ願ヒ、又シテ居ラレルノデアリマスガ、是ガ今申上ゲマシタルヤウナ經費ノ性質ノモノデアリマシテ、洵ニ行居イテ居ラナイノハ、一面才氣ノ毒デアリマスガ、一面今申シタル國民ノ本當ノ義勇軍的意氣込ニ依ツテ、是ガ國、自治體及ビ地方民間ヲ通ジテ行ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、其ノ邊モ一方御諒解ヲ願ヒ、又地方團體全體ノ財源トシテ——是ハ國デモ地方デモ、國民舉ゲデドウシテモ此ノ曠古ノ大戰爭ニ打勝ツ

爲ニハ、非常ニ辛抱強クシナケレバナリマセヌガ、無理ヲシテソレガヤリ切レス程度ニヤルノデハ、是ハ元モ子モナクナリマスカラ、將來ニ對スル財政モソレハ十分注意ヲ致ス、前ニ古田君ノ御質問ガアリマシタル官公吏ノ給與ノ如キモノモ、一面カラ見レバ薄イノデアリマスガ、家族手當ノ増額ニ致シマシテモ、國民學校教員ノ臨時手當ノ増額ニ致シマシテモ、又今回ノ戰時勤勉手當ノ支給ニ致シマシテモ、是ハ非常ニ大キナ部分ガ、國カラ地方團體ノ補助トシテ出テ居ルヤウナ譯デアリマス、又今回ノ地方分與稅ノ分與率ノ改正ニ付キマシテモ、能ク內務省ト協議ヲ遂ゲマシテ、地方財源ニ付テノ配慮ヲ致シテ居リマス、何分今ノヤウナ狀態デアリマシテ、地方團體ノ經理ノ上カラ見マスルト、逆モ不十分デアリマセウガ、徒ラニ委任事務ヲ押付ケテ、經費ハチツトモ出サナイト云フ風ナコトデハナク、其ノ邊ノ考ヘ方ハ此ノ數年來餘程明カニナツテ居リマス、是ハ一面當初ニ於テ考ヘテ貰ハナケレバナリマセヌガ、一面今申シタルヤウナ配慮ヲシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○木下(義)委員 御趣意ハ諒承致シマシタガ、先ニ申上ゲマシタルヤウニ、各種ノ施設ノ場合ニ、當初ノ施設ノ場合ニハ比較的ニ御認メテ願ヒマスルケレドモ、其ノ事業ガ繼續致シマスル時分ニ、餘程稀薄ニ相成ルヤウナ傾向ガアリマスルノデ、其ノ點ハ將來特ニ御留意ヲ願ツテ置キマスルト共ニ、併セテ都制、市町村制ノ條項ニ對シマシテハ、全國ノ市町村ガ、明文化セラレタコトニ依ツテ、感謝ヲ致シマスルト共ニ、多大ノ期待ヲ持ツテ居ル次第デアリマスカラ、彼

ノ條項ノ適當ナル運用ニ付キマシテ、格段ノ御考慮ヲ御拂ヒ戴クヤウニ、御願ヒテ致シテ置ク次第デアリス

最後ニ御尋ネシテ置キタイト思ヒマスルノ

ハ、貯蓄増強ノ爲ニ、新タニ法的施設トシテ、茲ニ御提案ニ相成ツテ居ル譯デアリマスルガ、私ハ他ノ方面ノ行政的施策ノ立場カラ考ヘマシテモ、貯蓄増強ニ付テ、尙ホ政府ニ於カレマシテ、格段ノ御考慮ヲ拂ツテ戴ク必要ガアル部面ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、ト申シマスノハ、先刻モ他ノ委員カラ質問ガアリマシテ、御答ヘテ戴キマシタ譯デアリマスガ、小都市並ニ町村ニ於キマシテハ、貯蓄ガ細カク、精細ニ行キ渡ツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、單ニ貯蓄ノ成績ヲ考ヘマス時分ニハ、割當テラレマシタル豫定額ノ成績ノミニ依ツテ、批判ヲスルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、假令割當額ノ全額貯蓄ヲ實現シテ置キマシテモ、現實ニ貯蓄ヲ致シマシテ側カラ見レバ、相當無理ヲシテ其ノ全額ノ貯蓄ヲ致シテ居ル者モアリ、又極メテ樂ニ割當額ヲ貯蓄シテ居ル部面ガアルノデアリマス、具體的ニハ申上ガマスルト、小都市或ハ町村ニ於キマシテハ、小作人ノ側カラ小作料、小作米ナドヲ出シマスル場合ニ、其ノ三割程度ヲ國債トシテ地主ノ方ニ交付シテ居リマス、地方ニ於ケル小作料ハ、都會ニ鑑ミマスレバ、借地料ニ該當スルモノト思ヒマス、現實ニ都會ニ生活致シマシテ、地方ニ生活スル場面ヲ考ヘマスルト、貯蓄ノ割當額ガ極メテ樂デアルト、私共考ヘルノデアリマスガ、結局私ガ行政的施策ト申シマスル所以ハ、都會ニ於テ地代、家賃ナドヲ、相當割合ニ於テ貯蓄増強ノ目的ヲ達成スル意味ニ於テ、債券ニ依ツテ交付

スル方法ナドニ付テノ御考ヘハアラレマセヌカ、斯ウ云フ點ニ付テ、行政的施策ノ觀點カラ、御伺ヒ致シタイト思フ譯デアリマ

ス

○賀屋國務大臣 只今一般ノ貯蓄問題ニ付キマシテ起ツテ居ルノハ、貯蓄ノ一元化ト云フコトデアリマス、ソレハドウ云フコトカト言ヒマス、今ノ貯蓄ヲセシムル方法ガ非常ニ多元的デアアル、先ヅ貯蓄組合ニ付テハ隣保組合ガアリ、地域組合ガアル、或ハ職域組合其ノ他學校、婦人會等色々ナモノガアル、ソレカラ又其ノ外ニ直接債券ノ購入ヲ色々勸メテ居ル、彈丸切手、報國債券、貯蓄債券、國債、是ガ隣組カラモ來ル、又郵便局カラモ勸メニ來ル、又其ノ外簡易保險、郵便年金等ノ勸誘モ頻繁ニ來ル、非常ニ多元的デ是ハ甚ダ困ル、若シ貯蓄組合、地域組合ガ完全ニ同じニ働クナラバ、其ノ一色デ宜イデヤナイカ、其ノ方ガ一般ノ人手モ省ケルシ、又貯蓄スル者モ方々カラ色々言ハレルカラ、此ノ方モ宜イ加減ニシテ置カウ、是モ宜イ加減ニシテ置カウト云フコトニナルノデスカラ、一元的ニ一ツノ組合ダケデヤル方ガ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ說ヲ展、聞クノデス、ソレモ私ハ眞理デアルト思ヒマスガ、併シサウ云フ一ツノ貯蓄組合ガ、十分ニ其ノ組合ノ範圍内ノ各戸ニ付テ、最大限度ノ貯蓄ガ出來ルヤウニ進メルヤウニ行ツテ居リマス所ハ、實際ハ一元的デ宜イ譯デアリマスガ、現狀ニ於テハ中々ソコマデ參ツテ居リマセス、ソレカラ又一應或ル組合デ最大限ノ標準マデ戸別ニ旨ク行ツタヤウデアリマシテモ、是ハヤハリ伸縮性ノアルモノデアリマスカラ、其ノ他ニ婦人團體ガ主婦ノ心掛トシテ、日ニモウ十錢ダケ節

約ヲシテヤロウデヤナイカ、サウスレバ月ニ三圓ダケ出來ルデヤナイカ、或ハ手内職ヲ世話ヲスレバ、又各戸平均二圓ナリ、三圓ナリ出來ルデヤナイカ、云フヤウナ工夫ナドガ、又アルヤウデアリマス、斯ウ云フコトヲ申上ガテハ甚ダ恐入ルノデアリマスガ、或ル食物デ満腹ニナツタ所ヘ、違ツタ鯨ガ來ル、菓子ガ來ルト又一ツ位入ル、斯ウ云フコトガ人ノ生活狀態、心理狀態ニ非常ニアル譯デアリマスカラ、ザウ云フ作用モ一ツ考ヘテ行カナケレバナラナイ、貯蓄ト云フモノガ國民所得ノ半分以上ヲ貯蓄ニ廻サナケレバナラヌヤウナ時代ニハ、是ハ最大限ヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ、サウ云フ作用モ考ヘテ行カナクテハナラヌト思ヒマス、又現在ニ於テ貯蓄組合ニシテ、マダ完全ニ最大限度マデ活動シテ居ナイノガ多イノデアリマス、ソレヲ一元的ニシマシタナラバ、是ハ積極的ニ非常ニ大キナモノガ出來上ルケレドモ、色々ナ面デ吸收シテ居ルカラ、ソレデ多元的の方面ヲ、俄ニ廢ス譯ニモ行カス、併シナガラ貯蓄組合ト云フモノハ、職

域的ニモ、地域的ニモドシトノ發達シツツアリマシテ、又場所ニ依ツテハ非常ニ好ク行ツテ居ル所モアリマスカラ、段々一元的方法ト云フモノヲ尊重シテ行ク方向ニ向ハナケレバナラヌ、先ヅ地域組合ガ非常ニ旨ク行ツテ居リマス所デハ、モウ郵便局長モ直接勸メルコトヲシナイデ、其ノ組合ノ幹部ト相談シテ行クト云フ、詰リ多元的ニ行カナイデ、ソコデ纏メテ行クト云フ風ニ、段段或ル部分ハ、サウ云フ所ニ來テ居ルト思フノデアリマス、話ガ少シ枝ニナリマスガ、ソレ程良イ組合ニナルト、モウ債券ノ廣告「ボスター」ナドハ貼ツテ貰ヒタクナイ、

アレヲ貼ルダケノ人手ト資材ガアレバ、ソレヲ節約シテ貯蓄ニ廻スベキデヤナイカト云フヤウナ觀念マデ起ツテ來ル、ソレハマダ其ノ程度ガ全國的ニ同じ所ニ行ツテ居リマセヌカラ、直グ一元的ニハ出來ナイガ、大勢ハ段々一元的ニ持ツテ行ク方向ニ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソコデ今御話ノヤウナ方法モ、是ハ其ノ土地ニ依リ、所ニ依リ、狀況ニ依ルト思フノデアリマシテ、假ニ一律ニヤリマシタ場合ニ、小家主デ其ノ家賃ノ收入デ、カツ／＼ノ生活ヲシテ居ルヤウナ人ハ、ソレノ半分トカ、三分ノ一ヲ債券ニスルト云フコトニナルト、非常ニ困ルノデアリマスガ、大キナ地主、家主ナラバソレガ適當ダト云フ場合モアリマス、ソコ等ガ都會ハ田舎ト違ツテ事情ガ分リマセヌノデ、ソレヲ一律ニ比例的ニ出シテヤルト云フト、ヤハリ相當ノ混雜ノ起ル場合モアルデアラウ、然ラバ家賃收入ノ額幾ラ以上ニ對シテヤルト云フコトニシタラドウカ、是ハ其ノ家ガ一區内ナラ一區内ニ纏ツテ居レバ宜イノデスガ、散在シテ居ルヤウナ場合ニハ、コノ店子ハ必ズ債券一部持ツテ行カナケレバナラヌ、コノハサウデナイ、斯ウ云フ複雑ナ關係モ起ツテ參リマスカラ、私ハ全面的ニ指定シナイデ、或ル場所デ、此處ハヤツタ方ガ好ク行クノダト云フ地域ガアリマシタナラバ、區役所ナリ何ナリガ適當ニ指導シテヤツタ宜イデヤナイカ、併シナガラ一般的ニ必ズ之ヲヤレト強制スルノモドウカト思ヒマス、ソコデ其ノヤリ方ニ付テモ、貯蓄及ビ全面的

生活ノ立場カラ、斯ウ云フ利益ガアル、斯ウ云フ不利益ガアル、其ノ實情ニ應ジテヤリナサイト云フ風ニ、ソレヲ幾ツモ拵ヘテ

下級自治團體等ニ示シテ置イテ、其ノ實情ニ應ジテ適當ニヤラセルト云フヤウナコトヲ考ヘルノガ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ氣持デ居ル譯デアリマス

○木下(義)委員 御趣旨ハ能ク了承致シマシタ、結局此ノ兩法律ニ付キマシテモ、地域組合ノ性質ノモノト、職域組合ノ性質ノモノトヲ如何ニ調和シ、是ガ運用宜シキヲ得ルカト云フコトガ、重要ナ問題ダラウト思ツテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、又他ノ政府委員ニ巨細ニ御尋ネ致シタイト思ツテ居リマスカラ、私ノ大臣ニ對スル御尋ネハ、是デ終ラセテ戴キマス

○由谷委員長 吉田君

○吉田(貞)委員 私ガ大臣ニ御尋ネ致シタイト思フ點ハ、極ク簡單デゴザイマスガ、大藏當局トシテ、國民貯蓄増強ト云フ面カラ、國家資金ノ撒布ヲ、ドウ云フ風ニ指導シテ行カレル御考ヘデアリマスガ、北海道ノ例デ申シマス、北海道ハ今ノ所開ケタトハ申シマシテモ、大體主ナルモノハ農業生産デアリマシテ、其ノ他ノモノハ洵ニ少イ、工業ト雖モ非常ニ局限サレタモノダケシカゴザイマセヌノデ、洵ニ貧弱ナモノデゴザイマス、其ノ結果ト致シマシテ、北海道方面ニ於キマシテハ、國家資金ノ撒布ト云フモノガ非常ニ少イノデアリマシテ、將來國民貯蓄ヲ増強シテ行カウ、是カラ何年掛ルカ、益々貯蓄ヲ増強シテ行カナケレバナラヌト云フ際ニ、農業所得ダケデヤツテ行クト云フコトハ、中々應ゼラレヌト思ヒマスノデ、此ノ際國家的ナ施設ヲ全國ニ普及サセルト申シマスガ、工場ヲ地方ニ分布サセルト云フヤウナ意味カラ御考ヘニナリマシテ、大イニ一ツ生産ノ部面ニ付キマシ

テ増強ノ策ヲ圖リ、其ノ結果トシテ國民貯蓄ガ増強スルヤウナ風ニ、全國的ニ眺メテドウ云フ指導方針ヲ、國家資金撒布ト云フ面カラ御考ヘニナツテ居リマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、只今ノ所電力ガ餘ツテ居ルノハ、北海道ダケダト申シマスガ、電力ハ非常ニ豐富デゴザイマス、石炭ハ申上ダルマデモナク豐富デアリマス、此ノ方面ニ國家ノ要請スル今ノ戰力増強ノ工業施設ト云フモノヲ持ツテ來ラレルト云フコトハ、非常ニ適切ナコトダト思ヒマス、又其ノ結果トシテ、國民貯蓄ト云フモノハ益々増強シテ行クト思フノデアリマス、今日地方産業ノ擴張整備ト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、國家資金ノ撒布ヲ、ドウ御考ヘニナツテ御指導ニナリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 稍、長イ眼デ見マス、工業ノ地域的撒布ノ問題ハ、適當ナ努力ヲ得マス上ニ於テモ又軍事上ノ萬一ノ場合ノ破壊ノ危險ヲ分散スル上ニ於キマシテモ、色ナ意味カラ相當ニ之ヲ撒布スル必要ヲ、十分ニ認メテ居ル次第デアリマス、電力ハドウナツテ居ルカ、勞力資源ガドウナツテ居ルカ、交通上ノ便利ハドウナツテ居ルカ、ソレガナツテ居ルト云フバカリデナク、ソコハドウスレバ、ドウ變化シ、増シ得ルカ、其ノ増ス難易ノ凡ユル觀點カラ考ヘマシテ、工場其ノ他事業ノ全國的分布、國土計畫のナモノガ考ヘラレル譯デアリマス、唯此ノ一、二年ハ中々其ノ餘裕ガアリマセヌノデ、モウ戰時ノ極メテ今必要ナ飛行機トナリ、潜水艦トナリ、爆彈トナリ、軍艦トナリ、大砲トナルモノヲウント造ラウ、斯ウ云フ觀點カラ行ク、輸送力ノ如キモ

極度ニ逼迫シテ居リマスカラ、木造船ヲ造ルト致シマスレバ、何處ノ山ヲ伐レ、ソレヲ運ブノ長イ距離ガアツテハイカスカラ、何處ノ濱ニ造船所ナラ造船所ヲ作レト云フヤウニ、本當ニ輸送及ビ生産ノ上カラ、早ク目的ヲ達スルモノヲ選ンデ行クト云フコトニナリマス、ソレデ今仰セノヤウナ考ヘハ、此ノ兩三年ハ取入レニタイト思ヒマス、ソレハ他ニ電氣ガナイ、電氣ハ北海道ダケニ餘ツテ居ルト云フコトニナレバ、是ハ北海道ニ持ツテ行カナケレバナラスコトニナリマセウガ、今原料ヲ運ブノニ、北海道ニ持ツテ行ツタノデハ輸送力ガ掛ル、此處ナラバ直グ出來ル、結局輸送力ヲ増スノト、ソコニハ電力ガ足ラナイノデ電力ヲ増スノト、ドウチガ樂ニ出來ルカ、ソレハ樂ニ出來ル方ニ廻ス、是ハ北海道ニ廻スト云フコトヲ否定スル譯デアリマセヌガ、稍、長イ目デ見テ國土計畫の觀念ヨリ、モウ一ツ今差

追ツタ觀點カラ行キマスカラ、色々ナ目カラ見レバ、モウト分散シタ方ガ宜イト思フモノガ、一ツ所ヘ塊マリ過ギルト云フコトガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ今直グ生産ノ結果ヲ得タイ爲デアリマス、サウ云フ部面ハ、此ノ兩三年間ハ免レ難イト思ヒマスガ、長イ目デ見レバ御話ノヤウナコトガ出來ルカト思ヒマス

尙ホ資金撒布ニ付キマシテハ、今言ツタ國土計畫の輸送、經濟、勞力、サウ云フ面カラ見テ決マツテ、資金撒布ノ方ハ寧ロ結果論ニナル、資金撒布計畫ノ方主ニシテ、逆ニ今ノ工場立地計畫ノヤウナモノヲ立テルト云フコトハドウカト思ヒマス、寧ロ資金撒布計畫ハ結果論トシテ、資金撒布ガ斯ウナルト云フコトデアル、サウスレバ貯蓄

計畫ト云フモノハ、資金撒布ノ狀態ヲ見テ行ク、行政ノヤリ方トシテハ大體サウ云フ風ニナルト思ツテ居リマス

○吉田(貞)委員 今ノハ其ノ位ノ程度ニ伺ツテ置クコトニ致シマシテ、其ノ次ニ申上ダルコトハ、洵ニ卑近ナコトデアリマスガ、併シ國民生活トシテハ非常ニ大事ナコトデ、殊ニ國民ノ貯蓄心ト云フヤウナモノヲ、益々昂揚シテ行ク上ニハ、大キナ關係ヲ持ツ問題デアルト思フノデアリマス、是ハモウ地方到ル處目ニ付クノデアリマスガ、國ガナサル所ノ營繕ノ事業ナノデアリマス、是ハモウ戰時物資ノ非常ニ不足ナ場合ニモ拘ラズ、ドノ營繕ニ於キマシテモ、殆ド永久的ナ立派ナモノヲ御建デニナル、是モ無論大事ナコトデアリマセウケレドモ、一面農村等ニ於キマシテハ、生産擴充ノ爲ニ馬ヲ飼ハナケレバナラス、ソレニハ厩舎ヲ作ルト云フコトニナリマシテモ、厩舎ヲ作ルニ使フ釘モナケレバ、針金モナイ、雨ノ漏ル儘ニ任シテ居ル、斯ウ云フ不便ヲ忍ンデ居リマスノニ、一方國ニ於ケル營繕ハ、ソレガ直接ニ戰爭遂行ニ必要ナル物ナラバ兎モ角デアリマスガ、サウデハナイ部面ニ於キマシテモ、モウ便所ノ末ニ至ルマデ、チャント鐵板ヲ置クトカ何トカシテ、非常ニ堅牢ナモノガ出來ル、斯ウ云フコトハ重點的ニ物資ヲ使フト云フ上カラ見マシテモ、又必要ナ鐵ダトカ、人ト云フヤウナモノヲ、重點方向ニ差向ケテ行ク上ニ於キマシテモ、何ダカ不要不急ト云フヤウナ感ジモアリマスシ、同時ニソレヲ眺メテ居リマス者ハ、自分達ノ生活ニ於テハ非常ニ不自由ヲシテ、モウ釘ガナイト云フコトハ、田舎ノ農村ニ於ケル非常ナ苦痛デアリマスガ、ソレヲ忍ン

デ居ルノニ、片方デハサウ云フ風ニシテ使
フ、殊ニ鑛山等ニ於キマシテハ、是ハ表面
ニ現ハレヌ事實デアリマスガ、釘トカ針金
トカ云フモノガ相當潤澤ニ渡ルモノト見エ
マシテ、ドウ云フ経路ヲ辿ツテ、ドウ云フ惡
イコトヲシテ居ルカ知リマセスガ、サウ云
フモノガ闇ニ依リマシテ流レテ來ル、普通
ノ値段ナラバ一樽十五、六圓ノ釘ガ、闇デ
二百圓乃至四百圓ト云フヤウニ賣買サレテ
居ルヤウナコトモアリマス爲ニ、ソレガ延
イテ國民ノ思想ニモ惡イ影響ヲ與ヘテ居ル、

スガ、何カ若シ具體的ニ何處デドウ云フコ
トガ行ハレルト云フコトガアリマシテ、吾
吾ノ行届カヌ所ガアレバ、今後ノ參考ニナ
リマスカラ、御承知ノコトデモアリマシタ
ナラバ、後程政府委員ニ御示シテ願ヒタイ
ト思ヒマスガ、全ク其ノ方針デ参リタイ
思ツテ居リマス

マスカドウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス
○賀屋國務大臣 國民生活ノ上カラ贅澤ト
認メマスル方ニ付キマシテハ、一面課税ニ依
リマシテ、大キナ負擔ヲ負ハセマスルト同
時ニ、他面製造禁止、製造制限、是ハ原料
勞力等ノ配給ノ制限等ニ於キマスル直接方
法ト、兩方アル譯デアリマス、直接方法ニ付
キマシテハ、又色々考慮ヲ要スル點モアリ
マシテ、中々全面的ニ行カヌ譯モアリマス
ノデ、只今ハ課税方面カラ相當行ツテ居ル
ノガ多イノデアリマス、ソレデ今回ノ處置
ニ依リマシテ相當強イ課税上ノ制限モ致シ
テ居ルノデアリマス、先ヅ今年ノ考ヘデハ、

標準ノ反物シカ造ラセヌヤウニスル斯ウ云
フヤウナ方面カラモ、相當今後進ム餘地ガ
アルノデハナイカト思ツテ居リマス、服ナ
ドニシテモ、夏季ニ於ケル日本人ノ服装モ、
比較的寒イ「ヨーロッパ」デ行ハレテ居リマ
スヤウナ、洋服ノ上下ヲ揃ツテチヤント着
テ歩クトカ云フコトモ、是亦相當考ヘル餘
地ガアルノデハナイカト思ヒマス、法令的
ニ今ノヤウナ規格ヲ決メル方面、製造禁止
ヲスル方面、製造シテモ規格ヲ決メル方面、
課税ノ方面、國民運動的ニ社會ノ習慣ヲ變
ヘテ行ク方面、斯ウ云フヤウナコトヲ皆並行
シテヤツテ行ク餘地ガ、マダ相當アルヤウ
ニ考ヘテ居リマス

是ハモウ何モ議論ノナイコトデアリマスガ、
サモナイコト、或ハ差當ツテノ住宅ノ如キ
ハ、ソレハ簡單ナモノデ其ノ場ヲ凌イデ
行クト云フ風ニオヤリニナル御着意ハアリ
マセスカ、國ノ營繕ノ事業ニ付キマシテノ
御方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田(貞)委員 有難ウゴザイマシタ、モ
ウ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、
此ノ前大藏大臣ガ豫算委員會デノ御話ダト
伺ツタノデアリマスガ、國民生活ノ五割以
上モ、節約ヲシナケレバナラヌ面モアルト
云フ御話デアリマス、私共洵ニソレハ同感
デアリマシテ、是非此ノ際大戦争ヲ遂行ス
ル爲ニ、國民貯蓄ヲ増強スル上カラ、今日
ノ國民生活ノ水準ト云フモノヲ切下ゲルコ
トノ出來ルモノハ、ウント切下ゲテ、サウシ
テ簡單ニ規正シテ行クトガ必要ダト思フ
ノデアリマスガ、一面ニ於キマシテハ、奢侈
品ト云フヤウナモノハ非常ニ整理ヲセラレ
マシテ、殆ド製造ヲ禁止サレテ居ル狀態デ
アリマス、ケレドモ尙ホ吾々中流以下ノ生
活ヲ致シテ居リマス者カラ考ヘマシテ、奢
侈的ノ性質ヲ帶ビテ居ル、殊ニ衣類ト云フ
ヤウナモノヲ、モツト引下ゲテ行クト云フ
コトガ、大切ダト思フノデアリマス、斯ウ云
フモノニ對シマシテ、政府ハ此ノ間増税ヲ
オヤリニナリマシタガ、アノ國民生活ノ水
準以上ノ品物ニ付キマシテハ、モツト大キ
ナ割合ノ増税ヲナサイマシテ、先ヅ上等ノ
酒ニ課税ヲサレル、アノヤウナ域ニマデ税
金ヲ御課ケニナリマシタナラバ、自然ニ禁
止ノ效果ヲ持ツモノト思フノデアリマス
ルガ、將來サウ云フヤウナコトニ依ツテ、貯
蓄ノ増強ヲ圖ルト云フヤウナ御考ヘガアリ

アラバ、相當行過ギノ強イ程度デアルト考ヘ
ラレタカモ知レナイト思ヒマス——ト云フ
風ニ戰局及ビ戰局ヨリ來ル國民意識カラ見
マス、モツト強イモノガ適當デアルト云
フ段階ニ進ミ得ル場合モ、私ハ豫想サレル
ト思ヒマス、只今更ニ税率ヲ來年ドウ上ゲ
ルカ、是ハ申上ガ兼ネルノデアリマスルガ、
斯カル課税ガ今ノ限度デオ終ヒデ、モツト
強クナラヌカト言ヘバ、是ハナリ得ル場合
ガアルカト思ヒマス、ソレカラ一面、是ハ
私が申上ゲルノハ言ヒ過ギニナルカモ知レ
マセスガ、衣類等ニ付マシテモ、他ノ面カラ
申シマシテ、今マデノヤウニ必ズ一枚ノ着
物ニ、二丈八尺ノ一反ガ要ルトカ、帶ナラ
バ是ダケノ長サガ要ルト云フコトニ付キマ
シテハ、マダ餘程研究ノ餘地ガアル、ソレ
ヨリカ何割カ、或ハ半分モ少イモノデ間ニ
合ハセル、サウ云フ民間ノ考案ナドモ隨分
出テ來マス、一面サウ云フ方面カラ標準ヲ
皆變ヘテ行ク、モウサウ云フ風ナ新シイ

○由谷委員長 一寸大藏大臣ニ聽キマスガ、
先刻古田君カラ官吏ノ増俸ニ對スル質問ガ
アツテ、大藏大臣カラ一般の御方針ノ御
説明ガアリマシテ、能ク承ツタノデアリマ
スガ、私ハ此ノ問題ヲ小サクシテ、特ニ此
ノ委員會ニ付託サレテ居リマス納税施設法
案ト云ツタ風ナ問題カラ、稅務官吏ノ俸給
ノ件デスガ、比較論ヲ止メニシマシテモ、
兎ニ角低イコトハ事實ダシ、仕事ノ多イコ
トモ事實デアル、十七年度ノ營業稅、所得
稅等ノ課税ノ結果ニ對スル色々ナコトカラ
考ヘマシテモ、特ニ稅務官吏ニ對シテ、相
當増給然ルベシト考ヘテ居ルノデスガ、之
ニ對シテ先刻ノ古田君ヘノ御答辯ノ外ニ、
モウ少シ具體的ナ御意見ガ聽カレバ、非
常ニ仕合せト存ジマスガ、如何デセウカ
○賀屋國務大臣 稅務官吏ノ給與ニ付キマ
シテハ、私モ大藏省所管トシテハ、最モ痛
切ニ感ジテ居リマシテ、寧ロ今ノヤウナ御

話ヲ伺フノイ、其ノ意味デ有難イト思ヒマス、無論研究ハ致シマス、唯來年ハドウスルト云フヤウナコトハ、是ハ他トノ權衡其ノ他ノコトモアリマスノデ、ソコマデハ今申上ゲ兼ねマスガ、尙ホ考究致シタイト思ヒマス

○由谷委員長 ソレデハ是デ本日ハ散會致シマス、尙ホ次會ノ日程ハ公報デ申上ゲマス

午後零時二十六分散會

昭和十八年二月二十二日印刷

昭和十八年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局